

山火事に 注意しましょう

毎年、この時期は空気が乾燥し、山火事が多発しています。その多くが3月から6月にかけて集中して発生しており、出火原因はあぜ焼き、火入れ、たばこなど、人の不注意によるものが多数を占めています。次のことに注意して山火事を防ぎましょう。

- 風の強い日や乾燥した日は屋外で火を使用しない。
- あぜ焼きなどを行う際は2人以上で行い、必ず水バケツなど消火用具を準備する。
- また、焼却中はその場を離れず、焼却後は完全に消火する。
- たばこの火は必ず消し、吸殻は投げ捨てない。

ゴミの屋外焼却はやめましょう！

ゴミの野外焼却は法律により禁止されています。

野外焼却禁止の例外（火災予防のために消火用具の準備をお願いします）

- 病害虫の付着した木の枝の焼却
- 河川管理者が行う伐採した草木の焼却
- 災害時の応急対策、凍霜害防止のための稲わらの焼却
- 農業、林業または漁業を営むためにやむをえないものとして行われる、あぜ草・稲わら・下枝・み殻などの焼却
- 落ち葉たき、たき火、庭草・せん定木くずの焼却、キャンプファイヤー



平成27年山火事予防運動統一標語
「伝えよう
森の大事さ
火の怖さ」

あぜ焼き、火入れなどを行う場合は火事と間違わないように、事前にお近くの消防署・出張所へ「火災とまぎらわしい煙または火炎を発生させるおそれのある行為」の届け出をしましょう。

ご存知ですか？不妊治療

保健医療課健康推進係 ☎0824 - 73 - 1255

不妊ってどういう状態？

不妊とは、一般的に特に病気の無い健康な男女が性生活を営んでいるにもかかわらず、2年以上妊娠しない状態を言います。不妊は決して珍しいことではなく、6組に1組の夫婦が悩んでいるとも言われています。心配な方は、婦人科検診の機会なども利用して、まずは相談してみましょう。

不妊は女性だけの問題？

不妊の約半数に男性側の原因が関わっていると統計もあります。夫婦で話し合って不妊と向き合うことが大切です。

| 男性側の主な原因 | 女性側の主な原因 |
|----------------------|--------------------------------------|
| 性機能障害 (精神的ストレスなど) | 排卵障害 (ホルモンの異常、精神的ストレス、過剰なダイエットなど) |
| | 卵管のトラブル (クラミジア感染や過去の手術など) |
| | 精子をつくる力の低下 (小児期の病気や糖尿病) |

治療って どういったことをするの？

一般的な不妊治療として、

排卵日を診断して性交のタイミングを合わせる「タイミング法」や排卵誘発剤を用いた「排卵誘発法」、精子を洗浄・選別して子宮内に注入する「人工授精」が行われます。

これらの治療で妊娠しない場合には、卵巣から卵子を取り出して、体外で受精させ再度体内に戻す「体外受精」や「顕微授精」などの特定不妊治療が行われますが、一般的に治療費が高額になります。

県や市の 助成制度をご活用ください！

特定不妊治療は、県から一回あたり最大15万円の助成があります。それに加えて市からも一回あたり最大15万円の助成を受けることができます。

いずれも申請が必要です。詳しくは、保健医療課健康推進係にお問い合わせいただくか、市のホームページをご覧ください。

【不妊症のご相談】

広島県不妊専門相談センター
☎082・256・5610
毎週火・水・金曜日15時～17時30分
【不妊治療費用助成の問い合わせ】
保健医療課健康推進係
☎0824・73・1255